和教時報

2025年３月15日（土）発行　第2019号（毎月15日発行）
発行所／〒640-8269 和歌山市湊通丁南1-6-2　和歌山県教職員組合
TEL 073-423-2261　FAX 073-436-3243　情宣部長／山口法之
1部　20円（購読料は組合費に含みます）

和教組ゆるキャラ みばん

青年部大会＆ヤングジャンボリー♪

和教組　青年部長　山中　翔太

二月一日の土曜日に、花ご坊で青年部大会及びヤングジャンボリーを開催しました。

青年部大会では、今年度青年部で取り組んだ内容の総括や各支部での取り組みのまとめを発表しました。支部同士での取り組みの発表では、お互いに良い刺激を受けることができ、自分たちの支部でもできないか試してみようと思いました。

ヤングジャンボリーでは、海草支部でも現在お世話になっている助野先生を講師に招いて、「ありのままの自分とつながる仲間」という演目で講義をしていただきました。私は中学校の教員ですが、助野先生の話を聞き、自分は生徒たちに適切な声掛けというものができているのか疑問を感じ、考え直すいい機会となりました。

学習の後は、交流会を行い、皆で楽しく飲んで食べて話をしました。話をしていると、自分と同じような悩みを抱えている先生と交流することで、自分の気持ちもリフレッシュしました。また、途中でレクリエーションを行いたくさんの先生と盛り上がることができました。

青年部大会に初めて参加してくれた若い先生もいてまた横のつながりができました。これからもこのつながりを絶やさずに青年部活動を積極的に行い、組合を盛り上げていけたらと考えています。

輝いてワンショット　全国一斉アクション　東牟婁にて

ピンのスポット 428

三月四日、二〇二五年度予算案が衆議院で可決されました。しかし今回の予算は、石破内閣が少数与党で、今までのように与党単独では予算案を通せません。そんな中、与党は維新との密室協議で、「高校授業料の無償化への対応」などきわめて部分的な修正が行われ、与党の自民・公明に加えて、維新が賛成にまわり衆議院を通過しました。

今回の密室協議で維新は、高校授業料無償化と社会保険料の引き下げを主張しました。与党と維新の合意内容には、国民医療費の最低四兆円削減が盛り込まれています。これでは高校無償化が実現しても、国民生活の改善にはなりません。党利党略が優先され、物価高騰で苦しむ国民生活置き去りの弊害が国会で起こってきています。（N）

2月7日 研修問題等交渉
教職員の主体性を尊重せよ

確定交渉では県教委に対し、賃金や権利のことで交渉しますが、それとは別に、毎年この時期に研修や学力テスト、英検など、教育の内容に関わる重要事項について交渉しています。

県教委は研修について、「負担軽減に努めている」「教職員の主体性を尊重している」等と回答しましたが、そこで問題になったのが、今年度、中学校で突然押し付けられた「『言語能力の育成』と『こどもを主語にした授業』を目指す校内研修」です。これは、県教委が学力対策として実施したものです。参加者から「主体性を尊重していない」「県教委が校内研修の内容を指示するのは越権行為。実施は学校の裁量に任せるべきだ」と追及され、県教委は来年度に向け「教職員の主体性を引き出せるよう研究していきたい」と答えざるをえませんでした。

確定交渉で実施を「検討する」としていた県学力テストについては、この日の交渉では明言をさけましたが、来年度県予算では、中学校の県学テの費用が計上されていません。小学校のテストが中止とならず残念ですが、アンケートなどみんなで取り組んだ大きな成果です。

こうした毎年の地道な交渉の積み重ねが、県教委の横暴を許していないことは間違いありません。

子どもたちを尊重して 学びを広げる 素敵な実践ひろげよう

総合的な学習「農業へ挑戦」わきょうそ連続講座

和教組　教文部長　山崎　浩廉

有功東小の神崎和広先生の「農業へ挑戦～田んぼから和歌山の魅力を発信しよう～」実践報告をもとに二月二一日(金)午後六時三〇分から、わきょうそ連続講座を行いました。オンライン二名とイキシアに六名のこじんまりした人数でしたが、オンラインなので西牟婁からや、教育業務支援員の方、不登校親の会の方、来年度教育現場で働く予定の方などバラエティに富んだメンバーでした。

神崎先生の実践では「総合的な学習の時間の計画を先生同士で話し合いすること」「計画通りではなく子どもたちの意見を尊重して変更もある」「実体験の中で田んぼの広さ、水の流れ、米不足などの社会問題に目を向ける」「自分なりに考える力を育てる」など、数えきれない視点を提起してくれていました。

「タイトルがとても興味深くて参加しました！」という発言から、「参加できない児童にも子どもたちが自主的に動画を撮って、共有してます」とか、「さまざまな教科に結び付く要素があるので柔軟な教育課程編成で対応しています」とか、「教科を横断的にとらえるの大切ですね」などみんなで話し合うことができました。最後はもっと「こんな実践を広めていきたいね」という思いを確かめ合いました。

今回のようにオンラインの講座も企画しますので、参加してみてくださいね。

米軍基地・自然・文化
和教組の仲間が学んできました
沖縄平和ツアー

沖縄の人にとっての日常を知る

和歌山市支部　松江小分会　**内藤　克己**

沖縄ツアーに二日目から参加させていただきました。沖縄への平和学習は今回で三回目ですが、忘れてしまっていることが多くあるなと思って参加しました。

二日目は現在やこれからの米軍基地が関わる問題について知ることができました。中でも、嘉数高台から普天間基地についての話が強く印象に残りました。基地があることで道路が敷けず交通が滞ることや基地がある分だけ沖縄の人の働く場所がなくなっているという生活や経済にかかわる問題。オスプレイや戦闘機が飛来する普天間基地は市街地と隣接しているために住民や小学校などの子どもたちは常に危険にさらされているという問題。

小学校では上を飛行機とかが通るたびに、屋内へ避難しているそうです。「飛行機は見たくないけど、目視しないといけない。生きるためには仕方がない」と小二の子どもが作文で書いたと聞いたときは、「本当に日本のことなのか」と思ってしまう、沖縄の人にとっての日常の一部を知りました。

今回学習したことの一部でも、子どもたちとの学習の中で活かしていけたらいいなと思っています。

歴史や現状を知り、声をあげていこう

有田支部　箕島小分会　**清水　友葵**

全労連青年部主催沖縄ピースツアーに参加しました。約七〇・六％の全国の米軍専用施設が日本の国土面積の約〇・六％しかない沖縄県に集中しているという事実には驚かされました。嘉数高台から米軍普天間飛行場を見学しましたが、飛行場のすぐそばに住宅街がありました。付近にある小学校に部品が落ち、一週間以上運動場が使用禁止になったこともあるそうです。

印象に残ったことは目を背けたくなる現実だけではありません。美しく広がる海や自然には心を浄化され、三線民謡ライブからは沖縄の人々のおおらかさを感じました。辺野古・大浦湾周辺の海域は、ジュゴンをはじめとする絶滅危惧種二六二種を含む五八〇〇種以上の生物が確認されており、生物種の数は国内の世界自然遺産地域を上回るそうです。

現地の人達には身近な基地の問題ですが、どれだけの日本国民が問題意識をもっているのかと考えさせられました。

沖縄の自然や文化、平和を守るために私たちにできることはなんでしょう。それは戦争の歴史を知り、今なお続いている問題に目を向けること、そして自分の知った現状を伝え、一人ひとりが日本の平和を考え、声をあげていくことだと感じました。

和教組本部役員退任のあいさつ

長い間 お世話になりました。

組合の値打ちとは？

執行委員長　武田　正利

休職・離籍合わせて二六年間、和教組本部でお世話になりました。多くの人と出会い、たくさんのことを学ばせて頂きました。学校は年々、忙しくなり、子どもたち・教職員にとって窮屈な場所になっていますが、子どもたちの思いに寄り添いたい、いい実践がしたい、たくさんの仲間とつながりたいという思いはみんなが持っている願いです。

みんなで集まって、語り合い、様々な要求を実現させていくことが組合の値打ちです。子どもも教職員もゆとりをもって過ごせる学校、ハラスメントのない、働きやすい職場をみんなの力を合わせてつくっていきましょう。

四月からは、専門員として県地評をはじめ、共闘関係の仕事を中心にお手伝いさせていただきます。これからもよろしくお願いします。

障害児学校の教室不足解消を

副執行委員長　山口　法之

二〇年の長きに渡ってお世話になりました。

今まで多くの方にご協力をいただき、特に和教時報定期号に原稿をお寄せいただいた方々、また障害児学校部の皆様方には本当に感謝いたしております。

さて、各障害児学校は児童生徒数のさらなる増加により、教室不足がより大きな問題となっています。新校舎建設が始まった紀北支援でも、児童生徒数が三〇〇名を下らず、新しい教室が完成しても、過大過密が解消できない可能性も出てきました。また教職員の未配置や未補充者などの理由から、長時間過密労働を強いられる教職員が多く、さらに病休者を生み出す負のスパイラルが解消できません。

運動の先頭からは下りますが、今後も微力ながら組合活動を続けていきたいと思っています。

ありがとうございました。

和教組公式LINE

友だち募集中

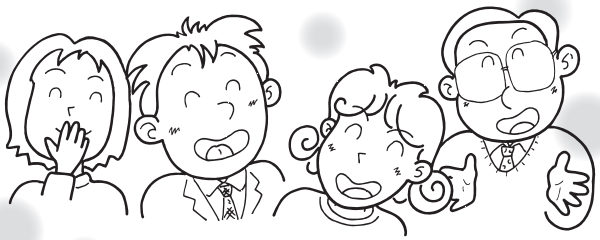
交渉結果やイベントなど情報をお届けします

個別の相談も可能です（他の人には読まれません）

安心と信頼

教職員のための

『教弘保険』



（公財）日本教育公務員弘済会　和歌山支部

提携保険会社：ジブラルタ生命保険株式会社

■和歌山第一営業所　073-421-8250　■和歌山第二営業所　073-421-8250　■和歌山第三営業所　073-421-8250
■橋本営業所　0736-33-1620　■田辺営業所　0739-22-5751　■新宮営業所　0735-22-0101